

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【公表番号】特表2009-510133(P2009-510133A)

【公表日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-533836(P2008-533836)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/28	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
C 0 7 K	7/06	(2006.01)
C 0 7 K	14/025	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/39	Z N A
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	47/24	
A 6 1 K	47/28	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	31/4745	
C 0 7 K	7/06	
C 0 7 K	14/025	

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月2日(2009.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

疎水性物質の連続的相を含む担体；リポソーム；および細胞障害性Tリンパ球(CTL)反応を誘発する能力がある少なくとも1つの抗原を含む組成物。

【請求項2】

少なくとも1つのヘルパーTエピトープをさらに含む請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

Tヘルパーエピトープが、少なくとも1つの抗原とは異なる分子である請求項2に記載の

組成物。

【請求項 4】

抗原が、Tヘルパーエピトープを含む請求項2に記載の組成物。

【請求項 5】

抗原が、ポリペプチドである請求項1～4のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 6】

抗原が、CTLエピトープまたはCTLエピトープの組み合わせを含む請求項1～5のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 7】

CTLエピトープが、ウイルスに由来する請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

CTLエピトープが、ヒトパピローマウイルスに由来する請求項7に記載の組成物。

【請求項 9】

CTLエピトープが、ヒトパピローマウイルス(HPV)のE6またはE7タンパク質のエピトープである請求項8に記載の組成物。

【請求項 10】

CTLエピトープが、HPVのE6およびE7タンパク質のCTLエピトープの混合物である請求項9に記載の組成物。

【請求項 11】

結合して単一のポリペプチドを形成する複数のCTLエピトープを含む請求項6に記載の組成物。

【請求項 12】

CTLエピトープが、腫瘍関連タンパク質に由来する請求項6に記載の組成物。

【請求項 13】

Tヘルパーエピトープが、ユニバーサルTヘルパーエピトープである請求項1～12のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 14】

Tヘルパーエピトープが、PADRE(pan - DR エピトープ)(配列番号：10)である請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

Tヘルパーエピトープが、F21E(配列番号：11)である請求項1～12のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 16】

Tヘルパーエピトープが、少なくとも1つの抗原と融合する請求項1～15のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 17】

Tヘルパーエピトープが、PADREであり、少なくとも1つの抗原が、CTLエピトープである請求項16に記載の組成物。

【請求項 18】

組成物が、IFN - 産生細胞を増殖させる能力がある請求項1～17のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 19】

アジュバントをさらに含む請求項1～17のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 20】

アジュバントが、CpGオリゴデオキシヌクレオチド(CpG ODN)(配列番号：12)である請求項19に記載の組成物。

【請求項 21】

アジュバントが、リポペプチドである請求項19に記載の組成物。

【請求項 22】

リポペプチドが、Pam3Cys - SKKKKである請求項21に記載の組成物。

【請求項 2 3】

がんの治療用の請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 2 4】

腫瘍サイズを縮小するための請求項 1 ~ 2 3 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 2 5】

1 ~ 2 4 のいずれか 1 つに記載の組成物を投与することを含む、患者におけるがんを治療するか、またはがん細胞の発達または増殖を阻止または予防するための方法。

【請求項 2 6】

組成物の投与の部位における 1 - イソブチル - 1H - イミダゾ[4,5 - c]キノリン - 4 - アミンを含む局所用組成物の使用をさらに含む請求項 2 5 に記載の方法。

【請求項 2 7】

請求項 1 ~ 2 1 のいずれか 1 つに記載の組成物およびその使用のための使用説明書を含む患者におけるがんの治療に有用なキット。

【請求項 2 8】

患者が、哺乳動物である請求項 2 5 または 2 6 に記載の方法。

【請求項 2 9】

哺乳動物が、ヒトである請求項 2 8 に記載の方法。

【請求項 3 0】

リポソームが、リン脂質を含む請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 3 1】

リポソームが、非エステル化コレステロールを含む請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 3 2】

リポソームが、天然脂質、合成脂質、スフィンゴ脂質、エーテル脂質、ステロール、カルジオリピン、陽イオン性脂質およびポリ(エチレンギリコール)および他のポリマーで修飾された脂質から得られる請求項 1 ~ 2 4 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 3 3】

合成脂質が、ラウロイル、ミリストイル、パルミトイyl、ステアロイル、アラキドイル、オレオイル、リノレオイルおよびエルコイルまたはその組み合わせから選ばれる脂肪酸成分を包含する請求項 3 2 に記載の組成物。

【請求項 3 4】

リポソームおよび細胞障害性Tリンパ球(CTL)反応を誘発する能力がある抗原と、疎水性物質の連続的相を含む担体とを混合することを含む方法によって製造される組成物。

【請求項 3 5】

方法が、Tヘルパーエピトープと、該リポソーム、該抗原および該担体とを混合することをさらに含む請求項 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 6】

該方法が、アジュバントと、該リポソーム、該抗原および該担体とを混合することをさらに含む請求項 3 4 または 3 5 に記載の組成物。

【請求項 3 7】

該抗原を、該リポソーム内に封入する請求項 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 8】

該 T ヘルパーエピトープを、該リポソーム内に封入する請求項 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 9】

該アジュバントを、該リポソーム内に封入する請求項 3 6 に記載の組成物。

【請求項 4 0】

該リポソームを、該担体と混合する前に、凍結乾燥する請求項 3 4 ~ 3 9 のいずれか 1 つに記載の組成物。

【請求項 4 1】

該 T ヘルパーエピトープが、該抗原とは別の分子である請求項 3 5 に記載の組成物。

【請求項 4 2】

該抗原が、該Tヘルパーエピトープを含む請求項3～5に記載の組成物。

【請求項 4 3】

該抗原が、請求項6～12のいずれか1つに記載の抗原である請求項3～40のいずれか1つに記載の組成物。

【請求項 4 4】

該Tヘルパーエピトープが、請求項13～17のいずれか1つに記載のTヘルパーエピトープである請求項3～40のいずれか1つに記載の組成物。